



発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 小島 敏雄
印刷所 (株)JA情報サービス



国際協同組合年

今月の特集 4～5面

支所運営委 特色ある活動
JAはだのは、各支所に支所運営委員会を設置し、地域に根差した協同活動を進めている。地域や協同組合の活性化に向け、特色ある活動に取り組んでいる。

9月30日(火)～10月15日(水)
秋の座談会に出席を
秋の座談会を9月30日に、市内43会場で開催します。
(火)～10月15日(水) ます。

2025年度上半期の活動などを報告します。組合員の意見・要望を今後のJA運営に反映させるため、1人でも多くの出席をお願いします。



エンサイの出荷作業に励む笹川さん夫妻

しゃきしゃき感を味わって

じばさんずで、エンサイが来店者から人気だ。暑さに強いエンサイは、猛暑の影響をほとんど受けないため、生産者にとってもメリットが大きい。
鶴巻の笹川聡さんは就農して2年目。妻・千尋さんと露地野菜を栽培する。暑さで小松菜など他の葉物野菜が育たない中、エンサイは耐暑性があり、同じ株から何度も収穫できるため栽培に力を入れる。「スーパードアーマー」はあまり見かけないが、しゃきしゃきとした食感が料理に合わせやすい。ぜひ多くの人に食べてもらいたい」と話す。



秋冬定期キャンペーン

現在、秋冬の定期貯金キャンペーンを実施しています。期間限定で特別金利を設定しますので、ご利用ください。

- ◎期 間：12月30日(火)まで
- ◎対象者：当JA正・准組合員とその家族(新規加入可)

特別金利0.77%

- ◎対象資金：当JA以外からの新たな資金
- ◎預け入れ金額：50万円以上(上限なし)
- ◎預け入れ期間：1年自動継続(単利型)
- ※ATMからの預け入れは対象外
- ◎適用金利：0.77%
- 詳しくは各支所・支店、または信用課まで。☎81-7716

西給油所新装オープン

午前7時30分から午後8時30分まで営業



開店を祝ったオープニングセレモニー

営業時間延長で便利に

で営業。高齢者や、決済機器の操作に不慣れな利用者、従業員がサポーターする。農業機械用燃料のガソリン携行缶・軽油ポリタンクへの給油は、従来通り従業員が対応する。

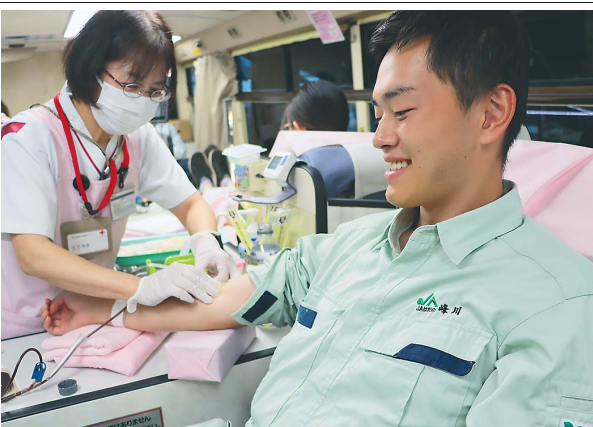
さらに、営業時間を4時間拡大し、午前7時30分から午後8時30分まで営業する。利用者の1人は「セルフで給油するのは初めてだったが、親切に教えてもらった。思ったより簡単だったので、今後も利用していきたい」と話した。

じばさんずで 献血に協力

来店者に呼びかけ

JAはだのは8月28日、神奈川県赤十字血液センターから依頼を受け、じばさんず敷地内で献血バスを受け入れた。来店者や従業員など47人

が献血に協力した。病気の治療などで輸血するため、県内では1日に約950人分の血液を必要としている。しかし、少子高齢化や若年層の献血離れが進み、献血に協力する人は年々減少傾向にある。同センターは、必要な血液を確保するためJAに協力を依頼した。



献血に協力するJA職員

JAは会場を提供し、来店者や従業員に献血を呼びかけた。また、献血者にSuns Gelatoのチケッ トをプレゼントするなど、献血の協力を促した。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

青パイヤ市長に贈呈

青パイヤ研究会は10日、秦野市役所を訪れ、高橋昌和市長に青パイヤを贈呈した。足立真弘会長ら4人が8個を手渡し、販路拡大に向け連携していくことを確認した。



高橋市長中央に青パイヤを贈呈する会員

販路拡大へ連携確認

足立会長らは、青パイヤの今年の作柄や、気象の影響などについて報告した。酷暑で例年に比べて花や実の付く時期が遅くなったものの、順調に生育したことを伝えた。

高橋市長は、栽培面積や収穫期間の他、販路などについて質問した。市内の飲食店に声をかけ、青パイヤを料理に使ってもらうことなどを提案。会と市が互いに協力して、青パイヤの販路を広げていくことを確めた。

高橋市長は「毎年この

「魅力を広めて」と要望

時期に贈呈いただき、感謝している。今後は栽培

農機整備呼びかけ

安全意識 向上を図る

J Aはだのは8日、東田原で中庭生産組合を対象に、農業機械整備講習会を開いた。組合員が持ち寄った機械と一緒に確認しながらメンテナンスし、日頃使用している器具が出る箇所などの相談にも応じた。

組合員5人が、トラクターや管理機など9台の農業機械を持ち寄った。センター職員が、オイル

様子を解説した。村上耕一部長は「資材を使う立場の農家から、講習会を通じて現場の声を届けられ、貴重な機会となった。最新の情報も得られたので、今後の生産に生かしていきたい」と感想を話した。

トマトのポイント 農薬最新情報学ぶ

やさい部会施設部

やさい部会施設部は8月28日、本所で栽培講習会を開いた。部員8人が、新品種の苗や、農薬などに関する最新情報を学んだ。

種苗を取り扱う株式会社ケイ化学㈱の社員は、農薬の最新情報を提供した他、展着剤の使用感を確かめてもらおうと実物



最新情報を学んだ講習会

を学んだ。最新の情報は、今後の生産に生かしていきたいと感想を話した。

面積を増やすなど、青パイヤが秦野を代表する農産物になるよう期待している」とエールを送った。

足立会長は「今年は酷暑で生育への影響が心配されたが、無事に出荷できて良かった。ぜひ市民に食べてもらい、多くの人に青パイヤの魅力を広めてほしい」と要望した。

営農技術

ヒント・ポイント

かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (廣瀬)

農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333

・果樹花き課 果樹(大井・曾根田・満田) 花き(青木)

・野菜課 葉物(城戸) 加工(小川)



イノシシの能力と防ぎ方

イノシシの能力

70kg

・人が一人で動かせるようなものは障害物にならない。

・足をかければ2mの高さも登る。

・足をかけなくても1mは飛び越えられる。

・20cmの隙間なら潜れる。

・柵と地面の隙間や穴に注意!

で田んぼや畑にやって来ます。ただし、普段使う獣道や安全だと学んだ場所では大胆に行動します。そんな警戒心の強いイノシシの生態を利用し、農作物被害対策として、忌避剤が使用される場合があります。逆に、学習能力の高いイノシシは、臭いや音を作物と結びつけ、忌避剤のある所に食べ物をあててしまっている要因の学習してしまっています。一つは、耕作放棄地です。知らない間に耕作放棄地が動物の隠れ場や通り道となり、周辺の農地で野菜などを食べるようになります。子孫を収獲せずに畑や周辺に捨てる食べ物をまわって育てたり、里で野菜を食べると、地際をしかり固定



農業機械をチェックする組合員④とセンター職員

J Aは組合員に農業機械のメンテナンスを徹底してもらおうと、各生産組合で定期的に整備講習会を開く。農業機械センター職員が組合員宅などで、一緒に機械を整備。安全使用を呼びかけ、農作業安全に対する意識向上につなげている。

受賞おめでとう 日頃の成果を発揮

▽優秀賞Ⅱ高橋太一・郷の香(下大槻) 山岸勉 良半立(東田原)▽佳良賞Ⅱ三嶽稔・Qなっつ(本町) 今井洋司 郷の香(横野) 諸星一雄 郷の香(菅野) 高橋勇太・改良半立(西大竹)

J Aグリーンは農家を応援します

農業や肥料などを特別価格で販売

タマネギ関連資材 特別価格で販売

J Aグリーンはだのは10月4日(土)～13日(月)、タマネギ栽培関連の資材キャンペーンを実施します。農薬や肥料、マルチなどを特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。お問い合わせはJ Aグリーンはだのまで。 81-7719

親子が地場産で調理

J Aはだのは8月22日、本所で親子料理教室を開いた。小学生以上の子どもと保護者を対象に、地産地消を促し、食農教育につなげるのが目的。地場産の野菜を使ったレシピと、災害時に役立つポリ袋炊飯を指導した。

児童に基礎から指導

講師は、女性部目的別趣味も所属。児童に包丁の扱い方グループ「オリーブの会」のや、さじを使った調味料の量メンバ16人が務めた。同会り方など料理の基礎から教えた。は栄養士のグループで、料理た。教室の講師の経験を持つ部員 参加した親子7組15人は



児童にポリ袋を使った米の炊き方を教える部員

「夏野菜たっぷりのドライカレー」「カボチャの豆乳プリン」など4品を調理した。米と水をポリ袋に入れ、鍋で湯煎しながら炊飯する方法も体験。災害時に停電している場合や、屋外でたき火を使って調理する際にも役立つ調理法を学んだ。完成後は、出来上がった料理を食べながら、部員や他の参加者と交流を深めた。

同会の堀井由紀代表は「地元の野菜をたくさん使うレシピで、子どもが喜ぶメニューにしたい」と思っ

て企画した。秦野の野菜のおいしさを知ってもらえたらうれしい」とこり。

納涼祭で盆踊り輪を作って部員が一体に



盆踊りで一体となった納涼祭

女性部は8月28日、本所で納涼祭を開いた。盆踊りで多くの部員が交流する場として、昨年から開催しているもの。部員89人が、会場に3重の輪を作って踊った。踊ったのは「たばこ音

症対策のため盆踊りを屋内で実施。今年は開催時間を短縮するなど、部員

趣味グループが協力

J Aはだのは18日、本所で子育て支援活動「ままメイトクラブ」を開いた。今回は、女性部目的

いきいき女性部活動

西秦野絵手紙の会

代表 萩原 好志子

私たちのグループは、絵手紙の会としては、県内で2番目に古い会で、今年36年目を迎えました。会員は22人で、和気あいあい、楽しく絵手紙を描いています。

おしゃべりをしながら絵を描き、添える言葉にちよっぴり頭を使う絵手紙は、認知症予防にも効果があるそうです。90歳を過ぎても毎月休まず例会に出



席される会員もいます。「人生100年時代」。一緒に絵手紙で楽しい時間を過ごしてみませんか。会員同士が出し合った絵手紙は、西支所に飾ってあります。まずは、のぞいてみてください。お待ちしております。

支部だより

大根支部

大根支部は12日、大根支所で廃油せつけんを作った。部員ら14人が参加した。

上支部

上支部は3日、菖蒲の須藤ぶどう園でブドウ狩りを満喫した。部員22人が、旬のブドウの収穫を満喫した。



食用油を再利用してせつけんを作った。へちま水には、皮膚細胞を活性化し、肌に栄養と潤いを与えるなどさまざまな成分があり、毎年の活動。部員25人が参加した。

南支部

南支部は12日、南支所でへちま水を作った。部員は、自宅で栽培す



ブドウ狩りを満喫した。部員22人が、旬のブドウの収穫を満喫した。部員は、同園の須藤政一さんから、品種「藤稟」の紹介や、収穫の注意など説明を受けた。その後、親睦も深まったのでとても良かった」と笑顔を見せた。

るへちまからへちま水を取り出して持参。ろ過してグリセリンやエタノールなどを混ぜ合わせた。その後、オリジナルのシールを貼った容器に入れて200本の化粧水を作成させた。



へちま水をろ過する部員

10月の女性部行事予定表

2日(木)	9:30~女性部運動会
6日(月)	10:00~農業まつり運営委員会
//	13:30~本部役員会
15日(水)	9:30~西支部「支所お茶飲み交流会手伝い」
16日(木)	9:30~支部会(南・北)
//	10:30~北支部「エークック料理教室」
//	13:30~支部会(東)
17日(金)	9:30~支部会(大根・西)
//	13:00~支部会(本町)
//	13:30~支部会(上)
//	14:30~本町支部「健康講話」
20日(月)	9:30~J Aはが野女性会との交流会
21日(火)	10:00~第4回フレミズ講座
22日(水)	9:30~西支部「ふるさと料理教室(西幼稚園)」
28日(火)	10:00~J Aはだの家の光クッキングフェスタ
29日(水)	13:30~南支部「支所お茶飲み交流会手伝い」
31日(金)	9:30~北支部「ふるさと料理教室(北幼稚園)」

告知板

訪問日ポスト 投函お知らせ

9月の組合員訪問日は、8月に引き続き熱中症対策のため訪問活動を簡略化し、機関紙「JAはだの」のポスト投函での対応とさせていただきます。ご理解をお願いいたします。提出物などご用件のある方は、最寄りの支所・支店までご連絡ください。

11月から定休日を導入します。

これまでの年末年始(12月31日、1月1日、3日)に加え、毎週火曜日を定休日とします。

ご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせはJAグリーンはだのまで。81-7719

JAグリーンはだの定休日を導入へ

米の検査集荷が始まりました

米穀の検査集荷を右下の通り実施します。持ち帰り検査を希望する方

は、◎印の検査日(合計4回)をお願いします。庭先集荷を希望する方は、3営業日前までに各支所・支店へお申し出ください。

農産加工の相談受け付け

お問い合せは営農課まで。81-7718

ト制 ◎待遇 社会保険完備 交通費規定支給・車通勤可など

農用地の広告物設置にご注意を

増進料理教室「地産地消!!体げんき食」を開きます。血圧が気になる方にも安心して食べていただくよう、塩分控えめのレシピで作ります。秋の味覚満載の料理を味わいましょう。

◎申し込み開始日 9月29日(月)から ◎定員 1名(要事前申し込み) 一緒に各支所・支店へご提出ください。

お申し込み・お問い合わせは生活福祉課まで。81-7719

サン(3)ズジェラートの日は、ジェラート1個ご購入でスタンプカードに二つ押印します。

☆「お得なパンセット」8日(水)18日(土)28日(火)8の付く日はパンセットの日。クロワッサンなどのパン商品を5個300円で販売します。組み合わせはお好みで選べます。

☆「ワンスプーンサービス」雨の日は、ジェラート購入で好きな味をスプーン1杯分お付けします。

◎10月14日(火)は定休日です。※準備の都合上、イベントが変更になることがありますので、ご了承ください。

今月の生産者



曾屋の 足立 真弘さん

出荷品目 青パパイヤ、長ナス、モロヘイヤ、青パパイヤ茶など年間約15品目

有機肥料の馬ふん堆肥を使って栽培しています。青パパイヤは肉巻きに、長ナスは煮びたしにして食べるのがお勧めです。青パパイヤ茶や乾燥ブルーベリーなどの加工品も出荷していますので、ぜひ手に取ってみてください。

看板などの屋外広告物の設置は「秦野市屋外広告物条例」で規制されています。

市内の生産緑地や農業振興地域の農用地は、屋外広告物を設置できない「禁止地域」に指定されていますので、ご注意ください。

◎日時 11月13日(木) 午前9時30分から午後1時まで ◎場所 本所農業団地センター2階 調理実習室 ◎対象 JAはだの組合員とその家族 ◎定員 18人 ◎講師 女性部目的別趣味グループ「オリーブの会」 ◎献立 レンコン入りハンバーグのきのこソースかけ、青パパイヤとカニカマのスープ、青菜のあえ物 ◎参加費 1人500円 ◎持ち物 エプロン・三角巾・ふきん・タオル・水筒

健康を増進しよう 料理教室開きます

JAはだの組合員とその家族を対象に、健康

希少浮葉植物 トウビシの実

千村の小野薫さんは、全国でも珍しいトウビシの実を栽培している。一年草の浮葉植物であるトウビシの果実で、古くから食用として親しまれてきた。現在は生産量が少なく、市場で見かけることはほとんどない。ビタミンなどの栄養素が豊富で、ゆでたり焼いたりして食べる。

工夫重ね守り続ける 千村 小野薫さん



トウビシの実を収穫する小野さん

小野さんは「生産者が減り市場に出回ることが少ないので、栽培を続けて守っていきたい。少しでも多くの人に知ってもらえれば」と語った。

じばさんず NEWS

【10月のイベント】

- ☆「豆腐の日」2日(木)～5日(日) 地元のお豆腐屋さんの商品を特別価格で販売します。
- ☆「新米まつり」4日(土)5日(日) いよいよ新米の季節です。秦野産の「はるみ」をご用意します。
- ☆「豚肉加工商品の日」10日(金) ㈱フリーデンが国産豚を使用したお得な商品を販売します。
- ☆「秋摘み新茶試飲販売」11日(土)～13日(月) 秋に摘んだおいしいお茶を販売します。試飲もご用意します。
- ☆「おススメ!果物・野菜・加工品」18日(土)19日(日)25日(土)26日(日) 旬の果物や野菜、お薦めの加工品などを店舗外の特設コーナーで販売します。
- ☆「たまごの日」毎週月、金曜日 店頭価格から10%引き。一部の生産者出荷品は除きます。
- ☆「米の日」毎週水曜日 指定の銘柄米をお買い得価格で販売します。
- ☆「肉の日」毎週木曜日と29日(水) 店頭価格から5%引き。
- 【Sun's Gelatoのイベント】
- ☆「ジェラートの日」毎週火曜日 店頭価格から10%引き。
- ☆「ポイント2倍デー」3日(金)13日(月)23日(木)

年金無料相談会

これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きの
お手伝いをさせていただきます。
社会保険労務士がご相談にお応えします。

ご来場の方に
粗品を進呈

10月19日(日) 本所農業団地センター 10月21日(火) 南支所

10月29日(水) 東支所 時間 午前9時～午後4時

できるだけ
事前予約を
お願いします

ご予約・お問い合わせは

信用課 TEL.81-7716

文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選)
音消して星の雫の青すすき 吉田 清美(渋 沢)
稲妻にヒカソの目鼻描き損ず 菊池としえ(菩 提)
孟秋を温泉に溶き五体整ふる 志賀 明子(千 村)
赤銅に焼けて戦禍の疵瑕の跡 石原 松枝(渋 沢)
晩学のははの聖書や夏ささす 高橋 順子(大秦町)
人生の残る半分秋高し 柳川みち子(栄 町)
初秋の紺碧に乾す干物買ふ 佐藤英美子(南矢名)
名月や水に映して隻眼あり 森高 由子(渋 沢)
老僧の装い軽く初秋かな 高島美和子(名古木)
初秋や相模が灘をゆく白帆 選者
〈短歌〉(久保寺 富男 選)
亡き父の愛用の鎌研ぎ澄まし 頭高山に皆と草刈る 細田 富士(千 村)
評 集落の共同作業であらう。父の汗がし
み入んだ鎌を振りながらありし日の父
をしのんでいるのである。
風そよぐ青田の上を一直線に 飛びぬしヤンマの絶えて久しも 安居院輝雄(上大槻)
孫の顔なんて見せられない僕が ゆっくり洗う代々の墓 大木かずひろ(名古木)
虫捕りの網は立木に居眠りて 蟬は思うさま鳴き続け居り 八木 実(鶴巻北)
かかりたる露に陽のさし幽玄の 世界に吾を誘ってくれたら 石田(すゑ)(水神町)
父母妹妻を送りて老ひし身に 未だ届かず閻魔の手形は 選者
※選者による添削あり

今月の理事会

9月25日に理事会を開
催し、次のことを審議し
ました。
▽リスク評価書(特定
事業者作成書面等)の改
正について
▽カスターマーハラスメ
ント対策基本方針の設定
について
▽苦情等処理対応要領
の改正について
▽就業規則の改正、パ
ートタイマー就業規則の
改正、および育児・介護
休業等取扱規程の改正に
ついて
▽秦野駅前農協ビルエ
レベーターのリニューア
ル工事について
▽2025年度上半期
事業報告について
▽組合員教育対策委員
会への諮問について
▽「組合員・利用者本
位の業務運営に関する取
組方針」の改正について
職員人事
かっこ内は旧部署
◎9月1日付
本町支所⇨櫻田清美
(鶴巻支店)
◎9月5日付退職
善最結里(西支所)

農作業前に安全確認

10月31日まで事故防止運動

JAはだのは現在、秋
の農繁期の事故撲滅に向
け、秋期農作業安全確認
運動を実施しています。
運動期間は10月31日(金)
まで。期間中は、来所者
に注意を呼びかけるた
め、本所と各支所・支店
今年度は8月末現在で8
件の労災申請事故が発生
しました。農業機械を使
用する前には整備や作業
点検を必ず実施し、作業
中は小まめに休息を取る
など事故防止に努めま
しょう。

オクラの肉巻き

西支部 片倉 真弓さん



秦野の
農家飯

■材料4人分■

オクラ10本、しゃぶ
しゃぶ用豚肉300g、
片栗粉適量、A(し
ょうゆ大さじ2、砂糖大
さじ2、みりん大さじ
1、酢大さじ1、鶏が
らスープのもと大さじ
1)、レタス適量
〈作り方〉

- ①オクラは塩を振り、板ずりする。
- ②①を水で洗い流し、電子レンジで3分ほど加熱する。
- ③Aの調味料を混ぜて作っておく。
- ④しゃぶしゃぶ用の肉でオクラを巻き、片栗粉を付ける。
- ⑤④をフライパンで炒め、肉に火が通ったら③を入れて全体にかからめる。
- ⑥皿にレタスを敷き、盛り付ける。

〈ひとことアドバイス〉
夏にいっぱい取れるオクラを丸ごと使ってみ
ました。食べにくいときは半分に切ると、オク
ラの星形も見えてきれいに盛り付けられます。

青パイヤ紹介

10月5日(日)午前9時から



10月5日
(日)午前9
時放送のtv
k「かながわ
旬菜ナビ」は
「あなた色に
染まります! ~秦野産スーパーフ
ード~」と題して、JAはだの管内から
お届けします。旬菜キャッチャーの坂
井美萌々さんが、青パイヤをテーマ
にリポートします。ぜひご覧ください。
再放送は10月6日(月)午前10時から。
①曾屋の足立真弘さんの畑で青パ
パイヤの収穫を体験②小蓑毛の向原洋子
さんと東田原の吉田敦子さんと一緒に
青パイヤ料理に挑戦③平沢の中国料
理店「チャイナガーデン」で青パパイ
ヤを使ったメニューを試食(放送の順
序は未定)。

結婚相談日
10月10日(金)
時間 午前9時~正午
事前に電話でご予約をお願いします。
先着4人ですのでお受けできない場合
があります。
ご予約・お問い合わせは組織教育課
881-7714

税務相談日 10月10日(金)
午前9時30分~
法務相談日 10月20日(月)
午後1時30分~
場所 本町支所
予約制ですので、事前に電話でご予約をお願いしま
す。受け付け順に相談時間が決まります。
ご予約は県協同コンサルトはだの
881-2329

▽東地区⇨田代千代子
(落合)
▽南地区⇨内藤公子
(今川町)
▽西地区⇨田中和夫
(堀西)
▽大根地区⇨丸岡比佐
子(鶴巻南)
▽本町地区⇨岸豊子
(栄町)



10分
でできる
体ととのえ
朝ごはん

大島菊枝 著

中高年の朝に必要な糖
質とたんぱく質のバラ
ンスメニュー。朝食でし
かり栄養補給しないと筋
肉の分解が進んでしま
うため、朝食に4割ほど
の比重を置くこととして
います。忙しい人や朝ご
飯を食べる習慣のない人
でも無理なく実践でき
る、手軽なメニューが満
載。
定価1500円(税別)

休日ローン相談会

住宅の新築・リフォーム、住宅ローンのお借り換えやお車のご購入、お子さま
の教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。どなたでも
お気軽にご相談ください。

ご来場の方に
記念品を
進呈

10月4日(土)

午前9時~午後4時 南支所

完全予約制のため、事前予約をお願いいたします

融資課 ☎0120-954-093

またはお近くの支所・支店までお問い合わせください。

ホームページ内「休日ローン相談会」から予約可能!

JAはだの

Q 検索



ご相談
お待ちしております



25年産米

管理徹底し手応え



検査員⑤と米の状態を確認する生産者

J Aはだのは19日から、本所や大根支所などで2025年産米の検査と集荷を始めた。猛暑の影響で例年より1週間程度早めてスタートし、最終日は10月28日。約102トンの集荷を見込んでいる。

粒ぞろいや色つや検査

猛暑で1週間早く集荷

今年産米は昨年に続き、夏の猛暑の影響を大きく受けた。昨年よりさらに生育が早まった他、一部で高温障害の発生が見られるなど厳しい状況が続いたが、生産者は管理を徹底し懸命に米の栽培に励んだ。

J Aは、米の品質向上や収量増加を目的に、市内の生産者を積極的にサポート。追肥前と収穫前の2回、現地検討会を開催した他、大量発生が問題視されているカメムシの農作物被害を防ぐと、カメムシ防除用の農薬購入費用に対し助成金を交付している。

初日は、検査員を務める職員が、生産者10人が持ち寄った「はるみ」や「コシヒカリ」442袋(1袋30kg)を一袋ずつチェック。粒ぞろいや色つや、充実度などを検査し、等級を付けた。米はJ A全農を通じて

黑板風POPで伝わりやすく

セミナーで作り方を学ぶ



講師⑥に教わって黑板風POPを作る参加者

はだの都市農業支援センターとJ Aはだのは9日、本所で店内広告(POP)の作り方を伝えるセミナーを開いた。直売所出荷者らに、消費者の購買意欲を促すPOPの

県内の学校給食や、じばさんず供給される。

神奈川県産業技術総合研究所の職員が講師を務め、POPの役割や効果、構成や書き方のコツを説明。黑板風にすることで、こだわり感のある雰囲気がつくれることも伝えられた。

参加者10人は、消費者の気持ちに動くポイントについて理解を深めた。POPに書く情報が、消費者にとって役に立つものや、共感されるものだと伝わりやすいことを学んだ。さらに、文字の装飾や字体によるイメージの違い、レイアウトのパターンなどを学習。掲載する情報を整理し、キャッチコピーなどを考えてPOPを作った。

やえのちゃん ぴーなマンの「ゆうきの里づくり」ってなに? ⑥



やえのちゃん



ぴーなマン



やえのちゃん

環境・生産者・消費者の



全てに優しい「環境調和型農業」が実現するのよ。地元の消費者に地場産を食べてもらって、秦野の農業の応援団になってもらうことも大切ね。

これからもみんな協力して「ゆうきの里づくり」を続けていきたいね。

全てに優しい農業を実現

これまで5回にわたって「ゆうきの里づくり」について説明してきたわ。右のサイクルの図を見て、振り返ってみましょう。

「ゆうきの里づくり」は、環境に優しい農業と元気な産地づくりを目指す取り組みのことだったよね。

六つのサイクルが輪のようにつながり循環することで、自然

接近! おじまはす

識を身に付けた。「農業は、生活の中にあるのが当たり前。小売など約10品目を生産。」「農産物がしっか

定した収入になるというところ。祖父母が築いてきた作型を守りつつ、今後は作業内容と販売価格のバランスを見ながら、徐々に効率化を進めたい考えた。

自分なりの農業をめざす



菩提の 高橋 翔一さん(21)

「何年も作付けしていない畑があるので、全ての畑を活用したい。祖父母のやり方を引き継ぎながら、少しずつ自分なりの農業をやっていければ」と未来を見据える。

今年就農した、菩提の高橋翔一さん。4歳の頃から、祖父・健一さんや祖母・照子さんと一緒に、畑で草むしりや種まきをしてきた。高校生の時に「祖父母が元氣なうちに教わって、農業を受け継ごう」と就農を決意。県立かながわ農業アカデミーで2年間学び、多くの実習を通して知

8月27日には、鶴巻と上大槻の水田で水稻収穫適期現地検討会を開いた。連日の暑さで生育が早まっていることから、例年より1週間程度前倒して実施。収穫適期や管理上の注意点、高温耐性を持つ新品種「にじのきらめき」の試験栽培の状況などを説明した。

県農業技術センターの職員が、生産者33人に今後の栽培管理のポイントを解説した。出穂期後も

収穫前には現地検討会も

高温の日が続いているため、昨年同様に収穫期が早まることを周知。適期収穫の徹底が、品質向上につながることを呼びかけた。

白米熟粒や内穎(ないえい)褐変病の発生などの高温障害が懸念されていることも説明。出穂期を確認することや、収穫の直前まで水を張っておくことの重要性を伝えるようにしたい」と話した。

センター職員⑤と意見を交わす農家ら